

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679500126
法人名	インターナショナル・ホスピタル・サービス株式会社
事業所名	グループホーム 岬
所在地	鹿児島県大島郡知名町田皆2242番地 (電話) 0997-93-1502
自己評価作成日	平成23年2月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年3月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

県道から少し中に入り静かな住宅街の中にホームはあります。一步外に出ると地域の皆さんや子供達と声を掛け合えることができる環境に施設はあります。その環境を活かして地域に溶け込んで暮らす事ができればとの思いで開設当初から近くのゴミステーションの掃除を利用者と職員の日課として取組んでいます。今では地域の方々や子供達とも顔見知りになり気軽にホームに立ち寄ってくれる関係が構築できています。子供達の中には(ただいま)とホームを覗いて帰る子供もいます。また学校の行事のある時は心温まる言葉で誘って貰っています。岬の自慢は安全な散歩コースがあることです。車の通りも少なく静かな緑の中を通り抜けると溜池があり人馴れした鴨の親子が名前を呼ぶと飛んできてくれます。溜池の周りは季節の草花が咲き乱れて季節を感じることができます。木陰もあり地域のお年寄りが集まる場所にもなっています。声を掛け合い仲間に入れて貰いお話しを楽しむこともできます。ホームの近くには郵便局・公民館・ふれあい館・保育所・雑貨店・薬局・駐在所等々の字の中核機能が集まっている便利な環境に恵まれています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

災害対策で地域との連携が取れている。防災訓練後は消防署主催の勉強会で参加した地域住民から参考になったと喜ばれている。

職員からの提案により、利用者の排泄パターンを把握して支援することにより、排泄の自立支援の結果がでている。

常に安全な散歩コースでの外出支援を行っている。車イスの利用者にも外出支援を行い、肌で季節を感じ楽しんでいる。

職員のゆったりとした支援により、利用者の安心したおだやかな笑顔が見られる。

ターミナルケアについての取り組みなど、地域住民の意向にホームが応えて地域から信頼されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念について職員間で話し合いの機会を持ち意識づけています。朝礼後には理念に触れ確認し合う様にしています。また採用時には必ず理念を伝え理解して貰える様にしています。	地域密着型サービスになってから、その意義をふまえた理念を作成している。朝礼後理念を唱和し確認しあい、職員みんなで意識付けをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くのゴミステーションの掃除を利用者と職員で日課とし日常的に地域の方と交流して馴染みの関係が築かれる様に努めています。	学校帰りの子どもたちや教師、会合後に立ち寄る老人会の人など、日常的に地域と交流している。地域で勉強会の開催や福祉の相談役として地域に貢献している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の会合に参加し関わりながら認知症予防や認知症の方との関わり方等のミニ勉強会を行っています。地域の方からの認知症の相談も受けています。慰問の際も認知症の方への理解をお願いしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では事業所報告とともに参加者メンバーからの意見や要望を受け話し合いの場になる様に配慮しています。また事業所の取り組みに地域の理解と支援を得られる様に助言を貰いサービスの向上に活かしています。	会議には職員も参加し、事業所の報告と共に参加者からの意見や要望を聞いている。地域からの要望があった花壇作りに、職員全員で取り組んできた。事業所の取り組みにも地域住民が参加し協力してもらい、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>町の保健福祉課の担当者へホーム便りや事業所の実情を話して助言を貰ったりしながら課題解決を図っています。</p>	<p>保健福祉課の担当職員に利用者の暮らしぶり等を相談して、助言などを貰っている。また担当者も事業所に立ち寄り職員や利用者との交流を行ったり、研修の情報等の連絡をもらったりして連携を深めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修会や勉強会に参加したり、またホーム独自の勉強会で理解を浸透させ身体拘束ゼロに努めています。夜間以外は鍵を掛けた事はありません。</p>	<p>研修会や勉強会に参加し、伝達研修をしている。またホーム独自の勉強会で身体拘束の弊害を理解している。玄関の施錠は夜間のみしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>グループホーム協議会の研修会や島内での勉強会に参加したりまたホーム独自の勉強会で理解を浸透させる様に取組んでいます。虐待は見逃さない様に職員間でも十分に注意を払い速やかに対応する様にしています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度について研修を受けました。必要と思われる利用者には包括支援センターの関係者と話し合い活用できる様に支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>時間を取って丁寧に詳しく説明しています。特に利用料・重度化・看とりについても話し合っています。ケアに対する事業所の取り組みや考え方もお話しさせて頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>職員はご家族や利用者の言葉や態度から、その思いを察する努力をし利用者本位の運営を心がけていますが意見や不満を言い出すのが難しい事も理解し第三者委員に話す様に声掛けを行っています。</p>	<p>職員は利用者や家族から気軽に要望や意見等を聞き出すようにしている。意見や要望を聞いたら朝礼にて報告して改善するようにしている。また第三者委員にも申し出ることができる旨の声かけを行なっている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に職員会議を持ち職員の要望や意見は聞く様に努めていますが不満や意見は言い難い部分も多いと思います。全職員が意見や要望を言いたしやすい様な雰囲気作りに努めています。</p>	<p>利用者の誕生会に全職員が参加し、終了後職員会議を行うなど、職員会議を月に1～2回実施し、要望や意見が言いやすい雰囲気作りをしている。ケアに関する事などは全員で検討し、改善している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が向上心を持って働けるように資格習得に向けた勉強会に参加させたり習得後は本人の意向を重視しながら活かせる様に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人は働きながら学ぶ事の重要性を理解し実務に支障をきたさない限り研修の機会を与えてくれます。事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が受講できる様にしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>島外と同系列業者との交流もあり事例を通して意見や経験を参考にし日々のケアに活かしています。島内のグループホームの交換研修も行い他の福祉従事者同士の交流も場にも参加し気分転換を図れる様にしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のこれまでの経緯をゆっくりと聞き受容し求めているものを理解しホームとしてどの様な対応ができるのかを話し、話をする中で信頼関係をつくる様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が求めているものを理解しホームとしてはどの様な対応ができるか事前に話し合いを持ち家族の状況を把握することによって信頼関係を築ける様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い状況を確認し本人にとって改善に向けた支援を提案し本人に必要なサービスに繋げる様にしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活歴を把握した上で、その人がその人らしく生活できる様に心がけ支援する側とされる側という意識を持たずに共に支え合える関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添いながら利用者の日々の暮らしの気づきや情報共有に努め利用者と一緒に支えるための協力関係ができる様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前利用されていた床屋さんを希望される利用者は馴染みの床屋へ連れて行き馴染みのお店で買い物をしたり、これまでの関係が途切れない様に支援しています。	買い物や床屋など、以前の行きつけの所に同行し、馴染みの関係が、途切れないように支援している。また友達などもよく立ち寄っている。友人や知人等の交流が続くように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話を聞いたり相談に乗ったり皆で過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる様に職員が調整役となって支援しています。共同作業を通して利用者同士の関係が円滑になる様に支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お亡くなりになった方のお墓参りへ利用者と一緒に出掛けたりしています。ご家族もホームへ気軽に立ち寄り顔を出してくれて励ましと感謝の言葉を貰い良い関係ができています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者がどのような生活を望まれているのか言葉や表情また日々の関わりの中から真意を察し意向の把握に努めています。	日常的に利用者に寄り添った支援の中で、思いや意向を把握するようにしている。一人ひとりの思いや本人がして欲しいサービスを個人ファイルに入れ込んで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者それぞれが安心して暮らしていける様に、これまでの生活歴を把握し家庭の延長線上にホームの暮らしがあると考えてこれまでの生活環境に近い暮らしを支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の望む一日が過ごせる様に全職員が利用者の望んでいることやできる事に目を向け生活にメリハリのある暮らしを支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者が適切なサービスを受けられる様に日頃の関わりの中で思いや要望を聞き反映させる様にしています。アセスメントを含め意見交換モニタリング、カンファレンスを利用者と家族・職員で行っています。	入居時以降も支援の中でのアセスメントを重ね、介護計画に反映するようにしている。モニタリングやカンファレンスを利用者と家族・職員で行っている。利用者から聞き取りをする場合は、職員がゆっくりと時間をかけて工夫しながら把握し現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し食事・水分・排泄など身体状況及び日々の暮らしを記録しています。いつ誰が見ても利用者の体調がわかる様に昼夜色分けして見やすく工夫し情報共有を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況や要望に柔軟に対応しています。病院受診や外出、外泊の際は送迎したり、なかなか面会に来られないご家族には事前に連絡を取り利用者とは逢わせて安心を与えています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域の中で暮らし続けられる様に地域の役員や民生員・駐在所の方々と意見交換したり地域の力を借りながら利用者が生き生きと暮らせる様に支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者と家族の希望するかかりつけ医への受診を支援しています。毎月一回定期的に同系列病院から訪問受診が入ります。体調不良者がいる時は随時対応しています。ご家族と協力して通院介助も支援しています。	かかりつけ医での受診が継続するよう支援している。受診の結果は家族と共有するようになっている。また月1回は定期的に同系列の医療機関からの訪問受診を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の健康管理や体調面の相談や助言を貰い対応しています。気軽に相談できる関係にあり看取りケアも協力貰い安心しながら支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院による機能低下を極力防ぐために医師と相談をする時間を設けホームで対応可能な段階にきたら早期に退院できる様に情報交換し速やかな退院支援に結びつけています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期に対する対応方針を定め本人・家族・医療機関・職員と話し合いを持っています。状態が変化あるごとに家族と本人の気持ちの変化はないのか？ホームとしてできることをお話し、ご家族の思いを聞きながら支援しています。</p>	<p>終末期への支援については、事業所の方針を定めている。利用者・家族には、方針を説明し、共に支えるよう取り組んでいる。家族には、主治医の指示により定期的に話し合い連携を密にして、終末期ケアを行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>関係機関や消防署の協力を得て定期的に救急手当や蘇生術の研修や訓練は定期的を受けています。でも不安な職員には朝礼時に話し合いを持っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し年2回利用者と共に消防署の協力を得て近隣の方も加わり避難訓練を行っています。消火器の使い方等確実な避難誘導ができる様に訓練を行っています。</p>	<p>災害対策マニュアルを作成している。消防署の指導のもと、毎年2回利用者や近隣住民も参加して避難訓練を実施している。訓練後に勉強会を行い、老人会や地域住民に喜ばれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない様な言葉掛けや対応に配慮しています。研修会や職員会議などでも勉強し職員の意識向上を図っています。</p>	<p>人格の尊重やプライバシーの確保については、日常の支援の中で、さりげないケアを心がけ、声のトーンや言葉使いなどいねいに対応している。特に利用者中心に人格を尊重する事を常に心がけている。また研修会で学んだ事は職員会議でも研修を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>おおよその流れはありますが利用者の希望に沿って起床や就寝・食事や入浴を個別支援しています。意思表示の困難の方は表情を読み取り筆談したり本人が決められる様にしています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの体調や気分的な面に配慮しながら、その日その時の利用者本人の気持ちを優先しています。できるだけ個別支援を心がけて支援しています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>好きな服を選んで着て貰える様に支援し自己決定の難しい方は職員と一緒に決めています。髪型は本人の好きな様にカットにして貰っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>冷蔵庫の中の食材を利用者に伝え食べたい物を聞き、その日のメニューに決めています。職員と利用者は同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる様に雰囲気づくりも大切にしています。</p>	<p>日々の献立は、あるものの食材を中心に、利用者と話し合っ決めていく。また味見担当や食材の買い物などを職員と一緒にいき、同じテーブルで食事をするなど、おやつ作りなども楽しんでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取状況を毎日チェック表に記録し職員が情報を共有しながら栄養摂取量の確保に努めています。利用者の体調状態によっては同系列の栄養士等から助言も貰っています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの口腔状態にあった歯ブラシで本人の力に応じた口腔内ケアをして貰いできていない部分を職員が支援しています。習慣化されています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	行きたい時にトイレに行く事ができる様にぞれぞれの排泄パターンを把握し本人の生活リズムにそった声掛けを行ったりしながら自立に向けた支援をしています。	排泄パターンを把握し個々のタイミングをはかりながら、自分からトイレへ行けるように支援している。職員からの提案で、失禁が本人にとって気持ちの悪い事だということを感じるよう工夫して、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維の多い食材や牛乳を取り入れています。利用者それぞれに合った運動にも心がけ水分も多めに飲んでもらい自然排便できる様に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっていますが利用者のその日の体調や希望を聞きながら対応しています。入浴を拒む利用者に対しては言葉がけや時間をずらしたりしながら対応しています。	利用者の体調や希望にそった入浴支援をしている。夜間帯の失禁時は褥瘡や皮膚のトラブルになるので、すぐにシャワー浴を行って、清潔を心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動を促し生活のリズムを整える様にしています。一人ひとりの表情や体調を見ながらゆっくり休息がとれる様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルに一人ひとりの薬の効能や副作用について職員が把握できるようにしています。服薬は本人に手渡しきちんと服用できているのか確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力が発揮できる様にお手伝いできそうな仕事は頼んでいます。必ず感謝の言葉を伝えていきます。一人ひとりの楽しみを職員は把握し気晴らしの支援に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気や本人の希望に応じて心身の活性に繋げるためにも日常的に散歩に出掛けています。歩行困難な利用者も車椅子を利用して戸外へ出掛けることを積極的に行っています。肌で季節を感じて貰いたいとの思いで支援しています。	日常的に散歩に出かけるようにしており、家族からも寝込まないような支援を感謝されている。外出は個々の状況で対応している。職員の家族がボランティアで車イスの介助をするなど、協力して貰っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の管理できる少金額を家族にお願いしています。外出時等にジュースやパンを財布の中身と相談しながらお金を出して買える様に支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人等に電話しやすい雰囲気づくりや声掛けを行っています。利用者の希望に応じて日常的に手紙が書ける様に便箋や封筒などを準備しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が多くの時間を過ごす共用空間は茶碗を洗う音やご飯の炊ける匂い心地よい音楽など五感や季節感を意識的に採り入れる工夫をしています。フロアの飾りは利用者と一緒に考え利用者の希望を聞き飾って心地よく過ごせる様に努めています。</p>	<p>生活空間としての共用スペースには、季節の花を飾ったり・壁には写真や手紙・孫から利用者宛てた詩などが掲示され、心が和む雰囲気である。廊下に取り付けてある手すりを使って歩行訓練をするなど、自由に居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同空間の中に椅子やソファを置き独りで過ごせる場所や仲の良い利用者同士でくつろげるペースを設けています。利用者同士の関係性などに配慮した環境づくりに心がけています。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>思い出の写真や使い慣れたタンスを持って来て貰い利用者の居心地の良い様に本人の希望を聞きながら職員も手伝いながらその人らしく暮らせる様に手伝い助言したりして快適に過ごせる様に工夫しています。</p>	<p>部屋の中は本人の生活感が出て、思い思いの飾り付けがされている。家族や孫の写真がいつでも見れるように置かれ、また仏壇には、職員と一緒に買い求めた菊の花が飾ってあるなど、居心地よく暮らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に合わせて浴室やトイレや廊下等に手すりを付けて安全確保と自立への配慮をしています。また利用者が車椅子でも安心して動ける様にも配慮しています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない